



一般社団法人 知識流動システム研究所

KMS : Knowledge Mobility based System Institute
<http://www.smips.jp/KMS/>

第一期事業報告

【概要】

知識流動システム研究所（KMS：Knowledge Mobility based System Institute）は、任意組織である知的財産マネジメント研究会（Smips）知識流動システム分科会（KMS：Knowledge Mobility System）を元に、その発足から14年を経た2016年10月5日、一般社団法人として「知識を流動させ、知識を活かす、また、その知識の再構築に貢献する」ことを目的として設立いたしました。大学や企業から一般市民への知識格差を埋めるための知識流動にとどまらず、知識を得たさまざまな利害関係者からの更なる知識流動や知識の再構築も視野に、科学コミュニケーションの視座から知識流動および知識活用のための基盤形成に貢献すべく、第1期は国立研究法人に所属する研究者等向けに「科学コミュニケーション基礎研修」を実施（8回、うち1回はKMS分科会としての自主企画）、環境省が進める地球温暖化防止コミュニケーター養成を支援すべく教材（コミュニケーション編）製作など、“専門家から非専門家へ”、また、“非専門家から専門家へ”の科学コミュニケーション推進人材育成に寄与いたしました。加えて、2017年5月には国立研究法人日本医療研究開発機構が進める「ゲノム医療研究支援機能業務アウトソーシング」を受託し、“研究者と研究者”ならびに“研究者と研究機関”をつなぐ専門家同士の情報共有やネットワーク構築にも携わりました。

また、知識流動システム分科会時代から行ってきた小学生向けの知財教育ワークショップ「発明・発見教室」も発展を遂げ、その実施助成金として「平成29年度 子どもゆめ基金」（36万円）を獲得、継続実施している東京都台東区の東川小学校ウィークエンドスクールだけでなく、民間学童施設や任意団体「コドモチョウナйкаイ」と協働実施することによって、実施回数（年2回から5回）や実施場所・実施スタイルに広がりを見せました。この取り組み実績が評価され、2017年1月27日から内閣府「知財創造教育推進コンソーシアム」検討委員会委員にも就任いたしました。

一方、月1回程度開催した理事会では組織のあり方や事業展望等を継続して検討いたしました。今期は、まず財政的基礎基盤を確立すべく、2017年9月に「東京都創業サポート事業」を通じた860万円の低金利銀行融資と、代表理事ならびに監事からの借入金を受け、第2期の事務局体制構築に向けて推進力を得ました。

【理事会開催実績】

第1回／2016年11月21日	第6回／2017年6月23日	第11回／2017年11月24日
第2回／2016年12月15日	第7回／2017年7月31日	
第3回／2017年1月19日	第8回／2017年8月29日	
第4回／2017年4月6日	第9回／2017年9月21日	
第5回／2017年5月18日	第10回／2017年10月31日	

【社員総会開催実績】

- 第1回臨時社員総会／2017年10月31日
- 第1回定時社員総会／2017年12月21日

【運営体制】

役員

代表理事	西村 由希子	特定非営利活動法人 ASrid 理事長
理 事	小泉 周	自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授
	大崎 章弘	お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師
	天元 志保	国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）科学コミュニケーションセンター 調査員（～2017年9月30日）
監 事	隅藏 康一	政策研究大学院大学 教授

フェロー（五十音順）

奥本 素子	北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 准教授
古澤 輝由	北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 特任助教
本田 隆行	科学コミュニケーター
森田 由子	日本科学未来館 プログラム企画開発課 科学コミュニケーション専門主任

【事務所所在地／連絡先】

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-25 新東洋赤坂ビル5階 Hatch Cowork+KIDs 内
E-mail : kms-org@smips.jp

【資本金（第1期開始時）】

0 円

【主要取引先】

株式会社GIベレッジ（株式会社学研塾ホールディングス・株式会社市進ホールディングス 子会社）
国立研究開発法人国立環境研究所様
国立研究開発法人産業技術総合研究所様
国立研究開発法人日本医療研究開発機構様
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構様
みずほ情報総研株式会社様

【外部委員等】

内閣府「知財創造教育推進コンソーシアム」検討委員会委員（2017年1月27日～）

実施事業

研究者向け科学コミュニケーション基礎研修

現役研究者や次世代の研究者となりうる学生・院生を対象に、名古屋大学・戸田山和久教授が開発された科学コミュニケーションの基礎力向上のための研修プログラム（講義とワークショップ）を実施することを通じて、専門家と非専門家との知識流動の在り方を考察しています。



【第1期実施実績】※自主企画を除く

2016年10月13日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究所（参加者：約50名）

講師：小泉 周、日本科学未来館 森田 由子、アシスタント：天元 志保

※法人設立前のお引き受けだったため、講師個人が受託

2016年11月28日

国立研究開発法人 国立環境研究所（参加者：約40名）、講師：小泉 周、アシスタント：天元 志保

2017年3月14日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究所（参加者：約30名）

講師：大崎 章弘、日本科学未来館 森田 由子、アシスタント：天元 志保

2017年4月11日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（参加者：約100名）、講師：大崎 章弘、天元 志保

2017年10月10日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究所 北海道農業研究センター（参加者：約40名）

講師：小泉 周、北海道大学 高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）准教授 奥本素子・特任助教・古澤輝由、アシスタント：天元 志保

2017年11月6日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究所 九州沖縄農業研究センター（参加者：約30名）

講師：大崎 章弘、本田 隆之、アシスタント：天元 志保

2017年11月28日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究所 北海道農業研究センター（参加者：約40名）

講師：大崎 章弘、日本科学未来館 森田 由子、アシスタント：天元 志保

実施事業

発明・発見教室

発見することの面白さ、発明することの大切さを伝えるべく、自主製作した知財絵本を用いた読み聞かせ、ならびに、ワークショップを2005年から開始。（全国開催・延べ参加人数3100人）2009年から現在まで年2回実施している東京都江東区の東川小学校ウィークエンドスクールで得た知見を活かし、全国へ出前教室を行っています。



【第1期実施実績】

■江東区東川小学校ウィークエンドスクール

- 2016年 12月 3日 「不思議な生き物『プラナリア』の秘密！」（参加者：約30名）
- 2017年 7月22日 「電気のON・OFFに働きかける半導体のしくみ」（参加者：約30名）
- 2017年 11月18日 「ふれあい天文学」（参加者：約30名）
講師：自然科学研究機構 国立天文台 TMT推進室 林 左絵子

■その他


- 2016年12月10日 コドモチョウナイカイ「みんなでつくろう！コドモチョウナイカイまつり2016」| サイエンストーク&ワークショップ
「うちゅうのはてとロケットのおはなし」
講師：中本崇志 実施協力：こみやロケットクラブ（KRC）
- 2017年3月27日 クランテ三田「ふしぎがいっぱい！深海の謎！」|
講師：西村 由希子・天元 志保（参加者：約30名）
- 2017年8月23日 クランテ三田「不思議がいっぱい！小さな生きものから発見発明！」
講師：長壁 健・天元 志保（参加者：約40名）

実施事業

科学コミュニケーションに関するコンサルテーション

行政や研究機関・研究支援機関が抱える、科学や技術にまつわるコミュニケーションの課題や問題に対して、オーダーメイドのコンサルティングを行っています。








国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

ゲノム医療研究支援

疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト

AMEDは「疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト」を強力に推進しています。本プロジェクトの下、多くの研究チームが出口を見据えた研究活動を推進しています。本サイトでは、ゲノム医療研究に携わる多くの研究者の皆様のサポートするため、種々のサービスや情報を提供していきます。

2018年1月11日	イベント	第3回バイオバンク連絡会（2018/2/10）のご案内（1/11更新） R&W
2017年12月28日	イベント	シンポジウム「ゲノム・データベースと医療応用」のご案内（2018/1/20）
2017年12月28日	更新情報	「Landscape」榊 佳之先生のインタビューコラムを公開しました
2017年12月19日	イベント	「バイオバンクの品質管理、標準化、連携に関するワークショップ」のご案内（2018/1/20）
2017年12月18日	更新情報	「研究・研究者紹介」河合 洋介先生のインタビューコラムを公開しました

MENU

【第1期実績】

2017年3月
環境省「地球温暖化防止コミュニケーター事業」にて養成される
「地球温暖化防止コミュニケーター」用教材開発

- ・「コミュニケーション編」製作に協力
- ・教材を元に地球温暖化防止コミュニケーターを養成する
「トレーナー向け講座」で講師を担当

2017年5月
国立研究開発法人日本医療研究開発機構から
「平成29年度ゲノム医療研究支援機能業務アウトソーシング」を受託

- ・委員会等の運営を支援
- ・ポータルサイト掲載記事および動画の作製・編集を企画から担当

